

農場通信

農業活動での汗を感動へ ～実習による成就感と達成感～

■秋の苗祭りを開催（システム園芸科）

9月3日（土）9時から、校内で「秋の苗祭り」を開催しました。一般のお客様200名以上に、秋野菜のハクサイ・ブロッコリー・カリフラワーやブドウのピオーネを販売しました。野菜苗を2,000鉢以上を販売し、ピオーネを30分で完売するなど、盛況な状況で終わることができました。本年度の新しい行事として春の苗祭り、秋の苗祭りをスタートし、アンケートからも好評価を得ることができました。また、どのような商品を求められているのかを分析することで、次年度に向けて、果樹・野菜・草花部門のモチベーションの向上につながりました。継続してできる行事として改善改良を加え、より良い学科の行事にしていきたいと考えています。



■ハーベスタシミュレータ研修を受講（森林科学科）

今年度、開校された県立農林大学校の森林学科との連携授業として、森林科学科は「ハーベスタシミュレータ研修」を開催しました。ハーベスタシミュレータとは、コントローラーを用いてVR（バーチャルリアリティ）空間で林業機械を操作を体験学習できる機械です。実際の伐採、玉切、集積は重労働であり、危険も伴います。この先進的な機械を使って学ぶことで、効率よく学びかつ危険を防ぐことができます。

生徒は、実際の操作の難しさや伐倒できた時の達成感を感じていました。また、林業への興味や関心が深まった生徒がいました。県農大で学んでいる農林高校

の先輩の話も参考になりました。今後も県農大との連携授業を通して、生徒たちの知識と技術の深化を図り、高校卒業の選択肢として県農大森林学科への進学を考える生徒が増えて欲しいです。



■収穫感謝祭を開催（11/4）

生徒のご家族を対象に開催しました。多くのご来校、ありがとうございました。



■東屋の階段を製作（環境土木科）

2019年の台風19号の際に、倒木のため倒壊してしまった東屋が昨年度、再建されました。環境土木科では、東屋への階段を製作に取り組み、東京オリンピック・パラリンピックで使用された木材（通称オリパラ材）を再利用しました。主に3年生の課題研究で作成しました。基礎掘削には重機を使い、スコップなどで修正しながら骨材で締固めを行いました。オリパラ材に塗装を施し加工しましたが、材が固く重量もありとても大変でした。ところどころに素人感がありますが、素晴らしい階段が完成しました。（自画自賛）現在、スロープに着手して年度内の完成を目指しています。



■鉄平石を張る（造園緑地科）

10月13日（木）、造園緑地科は造園建設業協会技術委員会と連携し、技術講習会を開催しました。講習会の内容は、昨年度、再建した東屋の床に鉄平石を張り床面の仕上げです。

鉄平石とは、国内では長野県、岐阜県の山間部で産出される安山岩質の変成岩です。平らに薄く割れる特徴があるため、壁面や延べ段の表面に張り付けて使われることが多く、造園ではよく使われる材料です。避けたほうが良い張り方や細かな作法があり、割る時は形を考えながら割ります。石を張ったり貼り付ける実習は、材料費がかかるので授業で取り入れる機会が少なく、今回、プロの仕事を見れたことはとても良い勉強になりました。また、当日は同窓会長の甲斐市の保坂市長も激励をして下さいました。ありがとうございました。



■さつまいもの収穫（食品科学科）

食品科学科1年「農業と環境」は、10月中旬から下旬にかけて、さつまいも収穫実習をしました。品種は「紅あずま」で、実の色が黄色く粘性が高いことが特徴です。今年の6月上旬に苗の植え付けし、念願の収穫では2日間で計250kgを収穫することができました。収穫したさつまいもは、これから貯蔵庫で追熟させます。そして、重さや形で選別し、販売と加工にそれぞれ用いる予定です。

「農業と環境」は農産物の栽培基礎を学習する農業科の科目です。そして、食品科学科の「農業と環境」は、収穫した農産物を加工するまでが学習範囲です。このさつまいもが、どのような加工品となるのかとても楽しみです。



■全国大会に出場（農業クラブ）

第73回日本学校農業クラブ全国大会令和4年度北陸大会が10月25日～27日の3日間、北陸3県で開催されました。本校は農業鑑定競技5名が競技会等に参加し、水上莉緒さん(2H)が優秀賞に入賞しました。おめでとうございます!!

